

定期健康診断と術前検査

**** AHT が主体となって運営するワンニャンドックの実施経験から ****

竹内和義

たけうち動物病院（日本臨床獣医学フォーラム、神奈川県）

アドヴァイス

動物病院の仕事の内容や動物看護師（以下 AHT）の役割は近年大きく変化しつつあります。これまでの動物病院の仕事は、病気の治療と予防注射が主要な業務でしたが、多くのオーナーは、動物の健康に関わる多様なサービスと、より質の高い医療を望む傾向にあり、そのような要望に答えるために、獣医師と獣医師以外の病院スタッフ（非獣医スタッフ）が力を合わせて業務を遂行することが必要になってきました。評判の良い動物病院には必ず優秀な“非獣医スタッフ”（受付・AHT・トレーナーなど）がいて、そうでない平凡な動物病院と二極化する傾向にあります。

動物病院の使命は、質の高い獣医療を提供することは当たり前で、さらに様々な顧客サービスとして、定期健康診断、しつけ教室、リハビリテーション（整形外科手術後など）、入院動物の手厚い看護体制などが要求され、これらを実践するためには AHT および非獣医スタッフの協力が不可欠です。中でも、AHT が主役となって実践することが望ましい仕事が「定期健康診断」です。定期健康診断あるいは「わんにゃんどック」を病院の業務の一環として始めると、今まで脇役だった AHT が、多くのペットの健康管理に直接貢献していることを実感し、益々勤労意欲が増し、動物病院の発展にもつながります。

定期健康診断を含めた健康の維持を目的とした様々な考え方・サービスを「ウエルネス」という言葉で表現します。ウエルネスとは「真の病気」以外の歯科疾患、寄生虫疾患、遺伝性疾患、肥満、生殖器疾患などを、日常健康管理・予防医療などによって可能な限り最適な健康状態に維持するための概念です。たとえば避妊・去勢手術はペットのウエルネスにおいて絶対必要な要素ですが、必ず全身麻酔処置が必要となります。ウエルネスの概念が普及すると、真の病気ではなく健康な動物が歯石除去や不妊・去勢手術などのために全身麻酔・外科処置を実施する機会が増加します。われわれ獣医師は、オーナーにこのような処置を奨励すると同時に、全身麻酔や外科処置の安全性を強く保障しなければなりません。簡単な身体検査だけで麻酔や外科処置の安全性を保障することはできませんが、適切な術前検査を実施することで、100%絶対とは言えませんが、99%安全であることをオーナーに説明し、麻酔または外科処置が必要なウエルネスケアを実施することが可能となるのです。術前検査は、日常「健康診断・わんにゃんどック」のシステムを理解し実行している AHT であれば簡単に実施することができます。つまり、定期健康診断の一部を実行するだけでよいのですから。

1 定期健康診断の意義・目的

なぜ定期健康診断が必要か？

ウエルネスの概念を持ってペットが健康で長生きできるように、動物病院が様々な健康管理を行うことが今後の獣医療の柱になることは間違いありません。大切なペットが末永く健康でいられるためには、微妙な体調の変化をキャッチして早期発見・早期治療を心がけるとともに、オーダーメイドの健康管理プログラム（品種特異性の疾患などに注目した）をオーナーに提案する必要があります。たとえば、シーザーやキャバリアの健康診断では、心臓疾患・アトピー性皮膚炎、外耳炎などが多発しますので、これらの項目に注意を払い、早期発見・早期治療・維持管理を心がけます。僧帽弁閉鎖不全症は早期発見し、ACE 阻害剤などの適切な進行予防を行うことが可能になります。

動物病院での日常の診療では、目の前の病気に集中してしまい、長期の視点に立った健康管理をすることは現実的に不可能です。したがって、十分な時間を取って全身を丁寧に検査することができる定期健康診断を行うことが大切なのです。

定期健康診断を始める準備

すでに、定期健康診断を始めている動物病院も多いと思いますが、ここでは新たに定期健康診断システムをこれから本気で始めることを前提に導入方法も含めて解説します。

1. 定期健康診断実施への準備

(ア) 患者への啓蒙

定期健康診断およびウエルネスの重要性を動物病院のスタッフ全員が日常業務の中で常に意識しながら、オーナーとの会話の中で奨励・強調することが大切です。病気が進行した状態で治療を行うより、定期健康診断で早期診断・早期治療することで、病気が完治する確率が格段に向上し、しかもはるかに治療費が安くなることをアピールしてください。また、歯周病をコントロールして健康な歯が維持できているペットの平均寿命はおよそ 2 年長いことなど、統計学上の実例を交えて話をする事も効果的です。

- ① 早期治療は治療コストが安い
- ② 早期治療は完治の確率が高い
- ③ 歯が健康だと平均寿命がおよそ 2 年延びる・・・などのウエルネス情報を折に触れてオーナーに情報提供する。(健康診断は必ず歯のチェックをします)
- ④ 品種特異性疾患、遺伝性疾患の予言をして、早期進行予防(柴犬のアトピー、キャバリアの心臓疾患、M、ダックスの椎間板疾患など)
- ⑤ 年齢別で注目すべき疾患の予言(犬の僧帽弁疾患、猫の甲状腺機能亢進症)

(イ) パンフレット (図-1 参照)

健康診断システム導入に当たってまず始めなければならない仕事は健康診断用のパンフレット作りです。パンフレットには、定期健康診断の必要性、検査項目とその意義、年齢別の検査コース内容の決定とコース別の料金設定など定期健康診断システムを始める上で必要な全ての要素が網羅されます。当院のパンフレットを参照して、まずは自分の病院の規模・設備・人員に見合った定期健康診断のシステムとパンフレット作りを始めてください。私の病院のパンフレットの内容の 80%以上は AHT 達が相談をしながら原案を作りました。

パンフレットは、定期的に内容を更新する必要がありますので、印刷業者に依頼するより、院内でパソコンとカラー・レーザープリンターを活用して作ることをお勧めします。マイクロソフトのパブリッシャーというソフトを利用し、A4 版を半分折り A5 の大きさの冊子として両面印刷を利用して完成させると非常に体裁の良いパンフレットが出来上がります。印刷物の在庫は意外に場所をとりますが、この方法なら必要部数を必要なだけ印刷すれば済みますので小規模の動物病院には好都合です。両面冊子印刷を利用し、特殊な縦に留めることができる特殊なホッチキスを使用すると、ページ数の多い冊子も作ることができます。

- ① パンフレット作りは AHT が主導して始める
- ② 受付の目立つ場所に定期健康診断のパンフレットを置く (図-2)
- ③ 診察室にもパンフレット (直接説明して手渡す: 重要)
- ④ 待合室に啓蒙用のポスター貼る
- ⑤ パソコンの活用 (印刷コスト削減、タイムリーな印刷物)
- ⑥ パンフレットはカラー印刷すること
- ⑦ 院内パブリッシングは在庫スペースを節約し、常に最新情報を盛り込める
- ⑧ インターネット (メールマガジン、ホームページの活用)

(ウ) 割引制度

定期健康診断は日常診療時の検査とは異なり、一括して健康な動物に実施するものですから、当然コストも人件費も普段の診療時より抑えることが可能です。この分は、総合的に料金を割り引きしても、病院経営に負担はかけません。当院では、日常診療料金から 20-30%引きの料金を目安にセット料金を設定しています。定期健康診断の途中で追加検査が必要な場合もしばしばありますので、オプション料金も明確にしておきます。

料金設定では必ず、数ランクのバリエーションを用意します。おすし屋さんのコースが「松・竹・梅」の 3 つに料金コースが分かれている理由は、余裕のある人には「松」を選ぶことで一番良いコースを選んだ満足感を与え、普通の人にはまず満足できる十分なレベルの内容の「竹」にすることで、一番下の廉価版の「梅」ではない少し贅沢なコースを選んだ満足感を与えてくれるような仕組みになっているのです。また、献血動物・美容会員のポイントサービスとして、感謝をこめて健康診断をプレゼントすることもあります。

- ① 日常診療時より低コストを強調 (20-30%引き)
- ② セット料金はかならず A・B・C コースなどのバリエーションを作る (図-1)

- ③ オプション検査の規定を明確に
- ④ 献血提供者、患者紹介者などへのサービスの一環として
- ⑤ 美容会員へのポイントサービス

(エ) DM (ダイレクトメール)

一般にDMとは広告という概念の郵便物ですが、動物病院のDMは案内はがき、案内状という概念が適切だと思われます。広告とは不特定多数に宣伝することですが、案内とは特定のカテゴリーの顧客に適切な情報提供(インフォメーション)を行うことで、動物病院のパソコン受付用ソフトウェアはこの対象者の選択・検索に関して最強のツールとなります。是非、この検索システムを活用して、適切な情報・案内を提供してください。定期健康診断のDMの対象は以下のような基準に絞って、定期的に発送することをお勧めします。

- ① 1歳時検診
- ② お誕生日検診
- ③ フィラリア症検査時の同時サービス料金
- ④ ワクチンDM時に同時に啓蒙
- ⑤ 売上の高い顧客、来院頻度の高い顧客などをパソコンで検索して。

3 定期健康診断の実際

完全予約制

定期健康診断は、完全予約制で行います。ほぼ1-2名のAHTが数時間かけて実施するので、以下のような基準を設けて、時間的に余裕が取れる時期に予約を受け付けるようにしないと、日常の診療に影響が出ます。緊急性のある仕事ではなく、丁寧に実施すべき仕事ですから。また、ウイークデーの比較的暇な曜日や仕事が比較的暇な季節にこのような新規の仕事が増えることで、売り上げに貢献し、さらに年間の売り上げが平均化することになります。

- ① 仕事が込まないウイークデー(土曜を避ける)
- ② 1-3月の病院が暇なとき
- ③ 動物病院が暇な季節の売上に貢献
- ④ 人件費の節約と年間売上の安定化

AHTの仕事

定期健康診断は、ほぼ90%の過程をAHTが行うようにしてください。どの動物病院でも、院長や勤務獣医師は日常診療に追われ、特定の動物に数時間かけて健康診断を行う時間的余裕はありません。AHTが健康診断を自主的に始めると、基本的な身体検査、血液検査、レントゲン検査、心電図検査さらには、超音波検査まで日常的に訓練されるようになり(つまり、身体検査や血液検査、糞便検査のトレーニングにも役立つ)、病院運営にとってますますプラスになるはず。また、AHTの仕事への自覚・自立性が確立されて、勤務意欲も向上します。

- ① ほぼ全ての手順はAHTが実施
- ② 院長・獣医師は他の診療に専念出来ること
- ③ 院長や獣医師の仕事が増えることは病院にとってマイナス
- ④ AHTの自覚が目覚める

検査の手順

定期健康診断で最も基本となる検査が、身体検査です。全身を丁寧に検査してゆきます。この手中は、身体検査用のシート(または専用カルテ)を必ず利用してください。各部分の検査が終了するたびにチェックする事で、検査漏れ、検査のし忘れを最小限にすることができます。

- ① 完全な身体検査
- ② 血液検査(血液・血液化学検査)
- ③ レントゲン検査
- ④ 心電図検査
- ⑤ その他(腹部超音波検査、胸部超音波検査、ホルモン等特殊検査)
- ⑥ 検査当日は朝絶食ですので、「お弁当」を持参して頂き、採血・レントゲンなど絶食が必要な検査が終了したら、食事をあげてください。

報告書

検査結果の報告・説明は、定期健康診断の最も大切な仕事です。これらの説明は獣医師が必ず行ってください。検査当日のお迎えの時に全ての説明を行う方法と、別の日にじっくり説明する方法がありま

す。各動物病院の状況に合わせてどちらか決めてください。当日に結果が判明すると、オーナーは時間の節約ができて喜びますが、獣医師はその前にVTと打ち合わせを十分する時間が必要です。多くの場合、歯石除去、避妊・去勢手術の必要性、腫瘍・イボなどのどれかが見つかります。結果報告の時にこれらの説明し、その場で手術等の予約が完了します。当然術前検査はこの定期健康診断で済んでいますから、非常にスムーズに麻酔処置が必要なウエルネスプランが実施できます。

- ① 形として見える物を渡す（綺麗な報告書を作る）
- ② 次回も健康診断を受けたいと思わせる
- ③ 最終説明は必ず獣医師がする
- ④ 病気が見つかったら→早期に適切な治療開始

術前検査

術前検査に関する概念は（書類-1）を参考にしてください。定期健康診断を理解できれば、何も問題はありません。ただし、コストを最小限に抑えるため、一般的に血液検査は7項目（書類-1参照）に限定することが一般的ですが、高齢動物、ハイリスク動物の場合は、検査項目を適宜増やしてください。血液学検査のCBC（完全血球計算）とは、いわゆる血球計算機で白血球数、赤血球数、ヘモグロビン、血球容積、血小板などを数的にカウントするだけでなく、白血球の分類、血球・血小板の形態観察を顕微鏡で目視して評価する事を指します。CBCはAHTが出来ることが理想ですので是非挑戦してください。

まとめ

当院では、毎朝朝礼を行っています。これは、業務開始15分前の8時45分から9時までに手際よく実施されます。司会は全員が順番で行い、受付、AHT、勤務獣医師の区別は有りません。当日の予定の確認をまず行います。手術、わんにゃンドックの予定、送迎、往診、ペット美容などの確認で始まり、外来治療助手、入院治療担当者、入院動物の世話担当者の確認をします。また、本日退院予定動物の確認、入院動物の状況確認もします。動物病院の全ての業務が“非獣医師スタッフ”と獣医師の共同作業で進めるためには、スタッフ全員が当日の状況を把握しておく必要が有るためです。

今回ご紹介した「定期健康診断／わんにゃンドック」の内容で特に留意していただきたい点は、健康診断の実施はAHTが主体で、院長や勤務獣医師の仕事を出るだけ増やさないことです。院長や獣医師の仕事を増やさずに、売上の向上と病院イメージの向上が図れることが分かると、益々院長はAHTの重要性を理解し、健康診断業務に協力してくれるようになるでしょう。

図-1 (わんにゃんドックパンフレット見本)
マイクロソフト・パブリッシャーで冊子印刷 (A42 分割、両面印刷)



わんにゃんドックのご案内

〒260-1133 神奈川県伊勢原市東大竹1647-1
電話: 0463-95-8221 FAX: 0463-95-8276
メール: info@takeuchi-vet.com
URL: www.takeuchi-vet.com

夜間緊急の場合は
夜間緊急動物医療センターへ
電話 0463-50-5000
診察時間: 夜1時~朝8時まで (年中無休)
平塚市片岡21-1
当院前の道路を大塚方面に3.5km、右手車で1分

たけうち動物病院

+TAKEUCHI+ VETERINARY HOSPITAL



健康診断受診時の注意事項

- わんにゃんドックは完全予約制です。
- 要診希望の方は1週間前までにご予約下さい。
- わんにゃんドックの日は、平日月曜から金曜日です。
- 検査当日は、朝10時までに来院下さい。
- 検査は1日かかります。ペットのお迎えは夕方5時以降となります。(受付時に終了予定時間をご確認下さい)
- 検査結果のご報告は、退院時に担当獣医師が直接行いますので、検査結果の報告が受けられる大人の方がお迎えに来て下さい。ドック当日は、前日の夜9時以降は食事をあげないで下さい。(正確な検査結果に影響が出ます。少量のお水はおまかせください)
- 当日は、尿検査・糞便検査用の便と尿をご持参下さい。(当日検査出来ない場合は、尿検査・糞便検査のサービス券を差し上げ、便・尿が取れ次第、後日検査致します)
- 検査に非協力的な動物の場合、鎮静処置を行う場合があります。その場合は、電話等で詳しい主催の了承を得ますが、連絡が取れない場合は、検査を中止することがあります。当日連絡可能な携帯電話、連絡先を受付にお知らせ下さい。
- 検査当日に、別途の検査・診察・治療などのご希望が有りましたら、受付時にお申し出下さい。

その他の主な検査 (別料金)

- 白血球ワイルド・遊逸ワイルド検査セット 5000円
- 猫キリンプラズマ検査 3000円
- 猫伝染性豊満症検査 3000円
- アルブミン血清学的検査94項目 20000円
- 猫甲状腺セット T4+FT4 20000円
- 犬甲状腺セット T4+FT4+C-TSH 25000円
- 肝機能精密検査セット 猫・小型犬 18300円 犬大型 18300円 (レントゲン、超音波、貧血・貧血後アンモニア総胆汁酸検査)
- 副腎皮質機能検査 (ACTH負荷試験) 12000円

一般身体検査

一般身体検査には、

- 聴診 (心音・呼吸音・腹部)、体温測定、体重測定
- 姿勢・歩容・関節チェック
- 骨格、目、耳、鼻、のど、歯、リンパ節、皮膚、等の総合的検査が含まれています

これらの検査によって獣医師は、ペットが腹中の異常、菌科疾患、心臓疾患、呼吸器疾患、眼科疾患、皮膚病などにかかっているかどうか判断する重要な手がかりを得ます。受診前に、あなたのペットに関して気がかりとなるような行動、食事管理、寄生虫の駆除や健康管理について気軽に獣医師にお伝え下さい。この機会こそ飼い主と獣医師が対話を行える最良のチャンスであり、さらに健康管理プログラムの効果を最大限に発揮させるチャンスとなります。

尿便 (尿酸と寄生虫)

糞便検査によってあなたのペットに寄生虫がいるかどうか調べます。もし寄生虫が発見されたら適切な薬が必要となります。

血液検査

- 血清蛋白の検査 : TP, Alb, Glob
- 腎機能の目安 : BUN, Creat
- 肝機能の目安 : ALT, AST, ALP
- 血清脂質状態 : Echo, TG
- 血糖値 : Glu
- 血清電解質 : Na, K, Cl
- 血液学検査 : 赤血球、白血球、血小板の検査

レントゲン検査

- 胸部 : 縦横 2枚 腹部 : 縦横 2枚

合計4枚のレントゲン検査により胸部・腹部を診断します。

心電図検査

心臓の活動電位を測定します。聴診器では聞き取れないような、心拍の不整を調べることが出来ます。当院では、コンピュータ解析装置付の心電図を使用し、的確な診断の助けとしています。

尿検査

- 試験紙検査尿糖、ケトン、潜血、pH、比重、色調、ビリルビン、ウロビリノーゲン、蛋白等を調べます。
- 顕微鏡検査尿の詳しい成分を直接顕微鏡で調べます。

超音波検査

レントゲンでは確認しにくい臓器の形態の異常、腫瘍の発見・確認に威力を発揮します。

わんにゃんドックコースのご案内

あなたのペットがより健康で長命な生活を送るために、バージョンの異なるグレードが用意されています。様々なグレードの中から、あなたのペットに最適な検診プログラムを選択して下さい。

- 1) 1歳時限定コース
 - 一般身体検査
 - 尿検査
 - 糞便
 - 血液検査
 - 料金

通常価格 8100円 → 5670円
- 2) Aコース 成年向き
 - 一般身体検査
 - 尿検査
 - 糞便
 - 血液検査
 - レントゲン検査 (胸部・腹部)
 - 料金

猫~小型犬 通常価格 17900円 → 12530円
犬大型犬 通常価格 19800円 → 13930円
- 3) Bコース 中高年向き
 - Aコース検査
 - T4 (甲状腺) 検査
 - 料金

猫~小型犬 通常価格 21800円 → 15350円
犬大型犬 通常価格 23900円 → 16730円
- 4) Cコース 老年向き
 - Aコース検査
 - T4 (甲状腺) 検査
 - 心電図検査
 - 超音波検査
 - 料金

猫~小型犬 通常価格 26900円 → 19300円
犬大型犬 通常価格 28900円 → 20230円

(図-2a) 待合室にパンフレット



図-2b (拡大図)



図-3 採血風景



図-4 体温測定



図-5 心電図検査



図-6 耳鏡による耳の検査



図-7 レントゲン検査



図-8 超音波検査



図-9 最終検査結果の説明は獣医師がする



図-10 検査結果報告書の表紙
記念撮影写真を表紙に貼ると喜ばれます。

(書類-1)

麻酔・手術前スクリーニング検査同意書

ウエルネス動物病院

院長・獣医師: 竹内 和義

当院では、麻酔・手術を安全に実施するために最低限下記の血液検査を必ず実施致します。多くの麻酔薬は肝臓および腎臓から体外に排泄されます。したがって、これらの臓器が健康である事を事前に確認しておく必要があります。また血球数（赤血球・白血球・血小板など）が正常範囲内にあることは体の組織が正常に機能・治癒するためには不可欠ですので、検査します。

【1歳未満の動物】

1. CBC(完全血球計算)：白血球数、赤血球数、ヘモグロビン、血球容積、血小板などの数と形態
2. GPT：肝臓の障害の程度の指標
3. ALKP (アルカリフォスファターゼ)：肝胆道系、骨、副腎の異常で上昇
4. TP (血清総蛋白) と Alb (血清アルブミン)：血清蛋白のバランスと肝臓機能の指標
5. BUN と Cre (血清尿素窒素とクレアチニン)：腎機能の指標
6. Glu (血糖値)：血糖値は糖尿病などで上昇します

これらの項目の検査費用は #,###円 です

もし、上記の検査項目の中で異常が発見された場合は、下記に列挙した対処法の中から適宜選択して頂きます。

1. 後日に麻酔・手術処置を延期する
2. 原因を究明するために、追加検査を実施する
3. 麻酔・手術を敢行するが、麻酔薬や手術・処置法を変更する

これら全ての検査が正常でも、麻酔による有害反応を完全に否定することはできませんが、あなたのペットは健康状態に問題なく、麻酔・手術に対しての危険性が低いことを意味します。血液検査項目や麻酔に関してさらに詳しくお知りになりたい場合は気軽にご相談ください。当院の獣医師およびスタッフはそのようなご質問に喜んで対応させていただきます。

血液検査承諾のご署名：_____印

本日連絡可能な電話番号：_____ () _____

FAX番号：_____ () _____

検査に同意されない場合はこちらにご署名ください：_____

注)どのような麻酔でも、重大な危険が発生する可能性があります。当院では、より安全に麻酔を実施するために多くの情報・知識を収集・準備しております。

当院では最新鋭の院内検査機器を設備していますので、血液検査結果は 30 分程度で迅速に判明します。もしその場で検査結果をお知りになりたい場合はお申し付けください。その他の場合は、検査結果に異常がある場合のみ当院よりご連絡差し上げますので、予約・予定通り手術・入院当日に朝食を絶食して、午前 10 までにご来院ください。

(書類一2)

健康診断書 19年 6月 2日

オーナー名：吉田様 ペット名：カルピちゃん年齢：10歳11ヶ月体重：29.10kg体温：38.3℃

全身状態	正常 異常	栄養状態 正・異 その他 <u>両後肢内転</u>	歩様 正・異	姿勢 正・異
皮膚	正常 異常	毛の状態 正・異 外部寄生虫 正・異	爪の状態 正・異	皮膚の状態 正・異 その他
筋・骨格	正常 異常	頭部の位置 正・異 その他	跛行 正・異	関節 正・異
循環器	正常 異常	脈拍 正・異 <u>102回/min</u>	聴診 正・異	<u>わずかな雑音。グレード 1/6</u>
呼吸器	正常 異常	鼻腔 正・異 その他	呼吸聴診 正・異	<u>54回/min</u>
消化器	正常 異常	口腔内 正・異 肛門の状態 正・異	聴診（腸ぜん動音） 正・異	肛門腺 正・異
泌尿生殖器	正常 異常	外陰部の状態 正・異 その他 <u>避妊手術済み</u>		
眼	正常 異常	角膜 正・異 瞳孔 正・異	結膜 正・異 その他 <u>白内障初期。涙やけ</u>	眼瞼 正・異
耳	正常 異常	耳介 正・異 その他 <u>左耳にマラセチア性の耳垢</u>	耳道 正・異	感染、ダニ 正・異
口腔・歯	正常 異常	歯 正・異 口臭 正・異	歯石 正・異 その他	歯肉炎 正・異
リンパ節	正常 異常	下顎リンパ 正・異 鼠径リンパ 正・異	浅頸リンパ 正・異 膝窩リンパ 正・異	腋窩リンパ 正・異
検便・虫卵		直接法：+ ()・ -	浮遊法：+ ()・ -	
尿検査 (自然採取)		<p><尿検査データ> ウロビリ：- 潜血：- ビリルビン：- ケトン：- ブドウ糖：- タンパク：+ PHメーター：6.9 PH：7.0 比重：オーバー 色：黄色 <沈渣> 移行上皮細胞：0~1 J/HPF 白血球：稀 扁平上皮細胞：0~1 J/HPF 赤血球：- 細菌：球菌 自然の混じり程度 結晶：- 脂肪滴：+</p>		
コメント		<p>◎ カルピちゃんは、歩くときに後ろ足が内側に内転しています。 ◎ レントゲン上では股関節の悪化は認められません。アデカンのお注射を継続していきましょう。 ◎ 心臓には昨年と同じくらいの雑音がありました。 ◎ 両目共に初期の白内障です。暗くなると見え辛くなるので、お散歩は明るいうちに済ませましょう。 ◎ 左耳の奥にマラセチアの耳垢がありました。夏はお耳が悪くなりやすいので、定期的なお掃除を続けましょう。本日はお掃除済みです。 ◎ 中等度の歯石の付着がありました。一度歯石除去をしてお口をきれいにすることをお勧めします。お口がきれいだと2年長生きできると言われています。 ◎ 右胸に腫瘍がありました。大きくなるようなら手術をしたほうが良いでしょう。</p>		